

検査ニュース

No.139

ご挨拶

平素より、佐賀県医師会成人病予防センター業務には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今回は「風疹抗体検査（HI 法）に関する取り扱いについて」についてご案内申し上げます。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

● 風疹抗体検査（HI 法）に関する取り扱いについて

このたび、風疹抗体検査（HI 法）に用いるガチョウ血球（輸入品）が、国内全般において供給不足傾向となっており、今期の需要増加に伴っては、受託困難となる可能性もございます。

つきましては、国の要請により風疹 HI 法は、妊婦検診や臨床症状を持つ方を優先するとの方針により、健康診断等ワクチン接種有無を判定するための抗体価検査には、EIA 法による風疹ウイルス IgG をご利用くださいますよう、ご案内申し上げます。

風疹検査案内

項目コード No.	検査項目	容器	検体	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
409	風疹 (HI)	スピッツ 茶色栓 2.0ml	血清 0.2(ml)	3~5	79 ※5	HI	8未満 (倍)	
1991	風疹 (IgG)	スピッツ 茶色栓 2.0ml	血清 0.2(ml)	2~4	230 ※5	EIA	2.0未満	2.0未満 (-) 2.0~3.9 (±) 4.0以上 (+)

※5 免疫学的検査判断料

▼ 参考資料

ウイルス抗体検査方法の特徴

検査方法	原理	特徴
赤血球凝集抑制反応 (HI)	赤血球凝集能を持つウイルスの場合、その凝集を抑制する抗体を証明します。	型特異性が高い
		早期に抗体が上昇、持続する
酵素免疫法 (EIA)	固相化したウイルス抗原と抗体を反応させ、酵素標識抗体との反応により証明します。	抗体分画が可能
		定量的データ
		他法に比して高感度

ワクチン接種の目安となるウイルス抗体価

検査方法によって検出できる抗体の種類や感度が異なります。抗体をどの程度保持していればウイルス感染を防御できるか明確にすることは困難ですが、各種文献を参考にしたワクチン接種の目安となる値をご提示いたします。

項目コード No.	検査項目	基準値	ワクチン接種の目安となるウイルス抗体価
409	風疹ウイルス[HI]	8倍未満	8倍未満ないし8倍の場合
1991	風疹ウイルスIgG[EIA]	2.0未満(-)	(-)、(±)もしくは5.0(+)-8.0(+)-より低値の抗体価